

## 平成 26 年度 佼成育子園事業計画書

### 1. 重点施策

- (1) 子どもと大人が共に居心地の良い園生活の中で、仏教精神を基盤とした「子ども主体・子ども中心の見守る保育」を保障しつつ、保育者も専門性を生かし子どもと共に保育を創造していく。
- (2) 全職員が「見守る保育」コンサルタント研修に参加して、職員間のチームワーク向上に努める。
- (3) 「保護者の一日保育士体験」で子どもの発達と家庭の様子を確認し、「保育の見える化（ドキュメンテーション）」と保育実践をホームページに毎日掲載することで保護者と職員の相互理解と信頼関係を深める。
- (4) 行政と連携して首都直下地震等に対する、人的・物的な備えと減災対策を講ずる。

### 2. 児童処遇

- (1) 子ども一人ひとりの発達の連続性を保障した保育環境で生活する。
- (2) 子ども一人ひとりが自分の発達に応じた遊びを選択できるようにする。3～5 歳は「プロジェクト型保育」を取り入れ、子どもの探求心を広げたり深めたりできる環境を設定する。様々な体験の場として造形クラブ、音楽クラブ、英語クラブ、お当番活動等を選択して行う。
- (3) 看護師を配置して園医(佼成病院：小児科部長)と連携をとりながら、園児定期健康診断を実施して、感染症予防対策等も徹底する。
- (4) 「食前感謝のことば」を唱え、すべてのいのちに感謝する。食の安全性に配慮し、特に食物アレルギー対応等を徹底する。離乳食は家庭と連携をとりながら個々に行う。3～5 歳は子どもが食べる量を申告するセミバイキング給食で、楽しく食べる環境を整える。

### 3. 環境設定と衛生管理

- (1) 今年度も「つながる」を年間保育テーマに設定し、環境コーディネーターを中心に園内装飾を充実させる。
- (2) 杉並保健所の定期衛生検査を受け厨房内の衛生管理に努める。
- (3) 寝具は定期的に高温殺菌乾燥等を行い衛生管理に努める。
- (4) 全職員は月 1 回細菌検査と年 1 回健康診断を行なう。日本医師会認定産業医(佼成病院：精神科医師)との個人面談を行う。

### 4. 職員会議および研修

- (1) 会議等  
職員全体会・保育会議を毎月 2 回開催し、各種委員会等を随時開催する。
- (2) 研修等
  - ① 「見守る保育」東京地区活動の中核を担い、他園訪問や研修会を立案実施する。
  - ② 行政や保育関連機関が主催する研修に積極的に参加する。

### 5. 防火防災・減災・防犯対策

- (1) 大震災等に備えて職員は 2 泊 3 日の連続保育を想定した勤務体制で臨む。
- (2) 防火防災・防犯訓練を、抜き打ちで毎月 1 回以上実施する。
- (3) 3.11 に総合震災訓練を実施し、被災地へ祈りを捧げる。